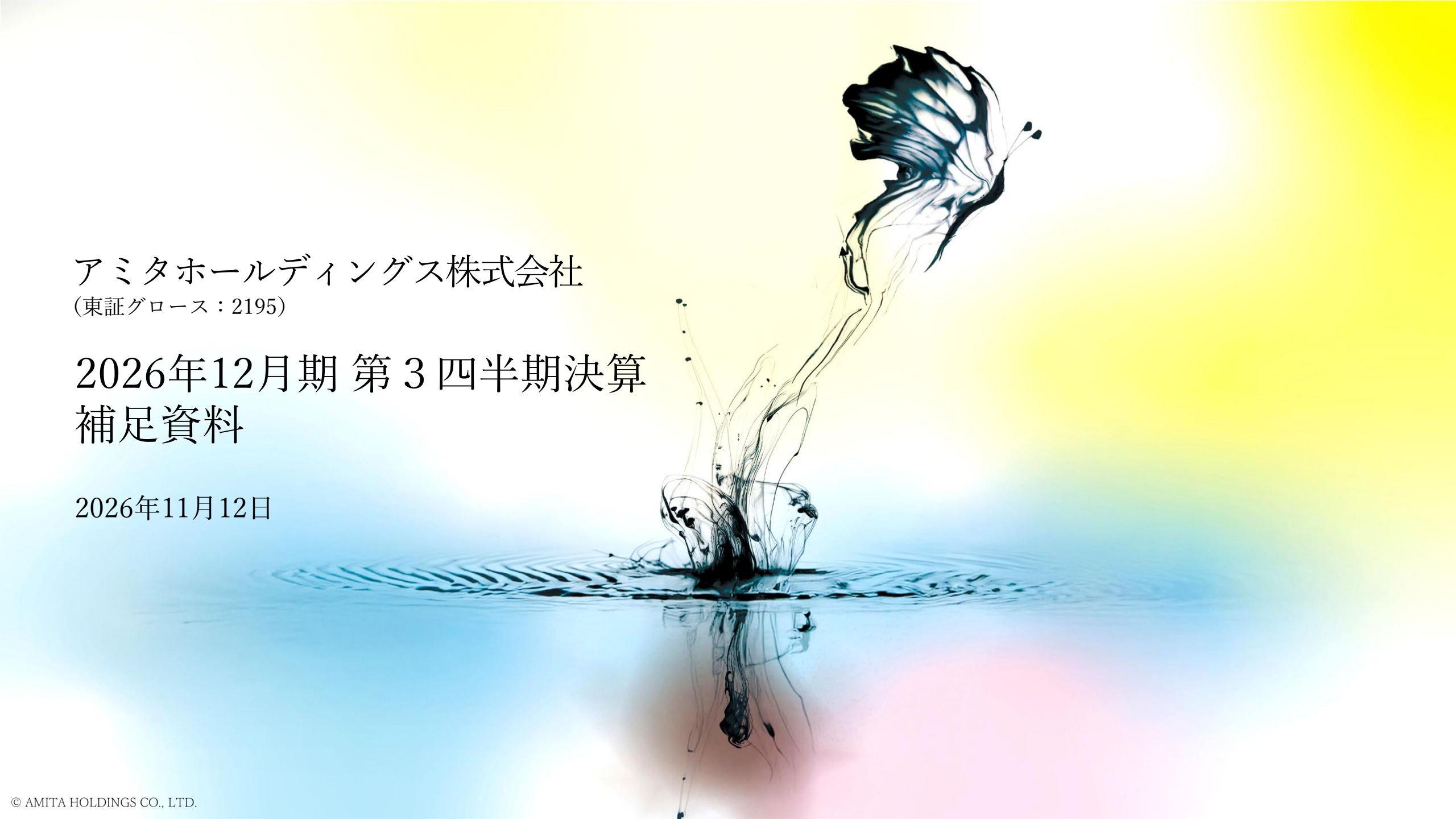
アミタホールディングス株式会社
(東証グロース：2195)

2026年12月期 第３四半期決算 補足資料

2026年11月12日



© AMITA HOLDINGS CO., LTD.

2026年度の位置づけ

社会デザイン事業確立に向けた「市場展開期」の取り組みを推進
社会課題の複雑化に伴い課題解決ニーズが高まり、事業機会は拡大

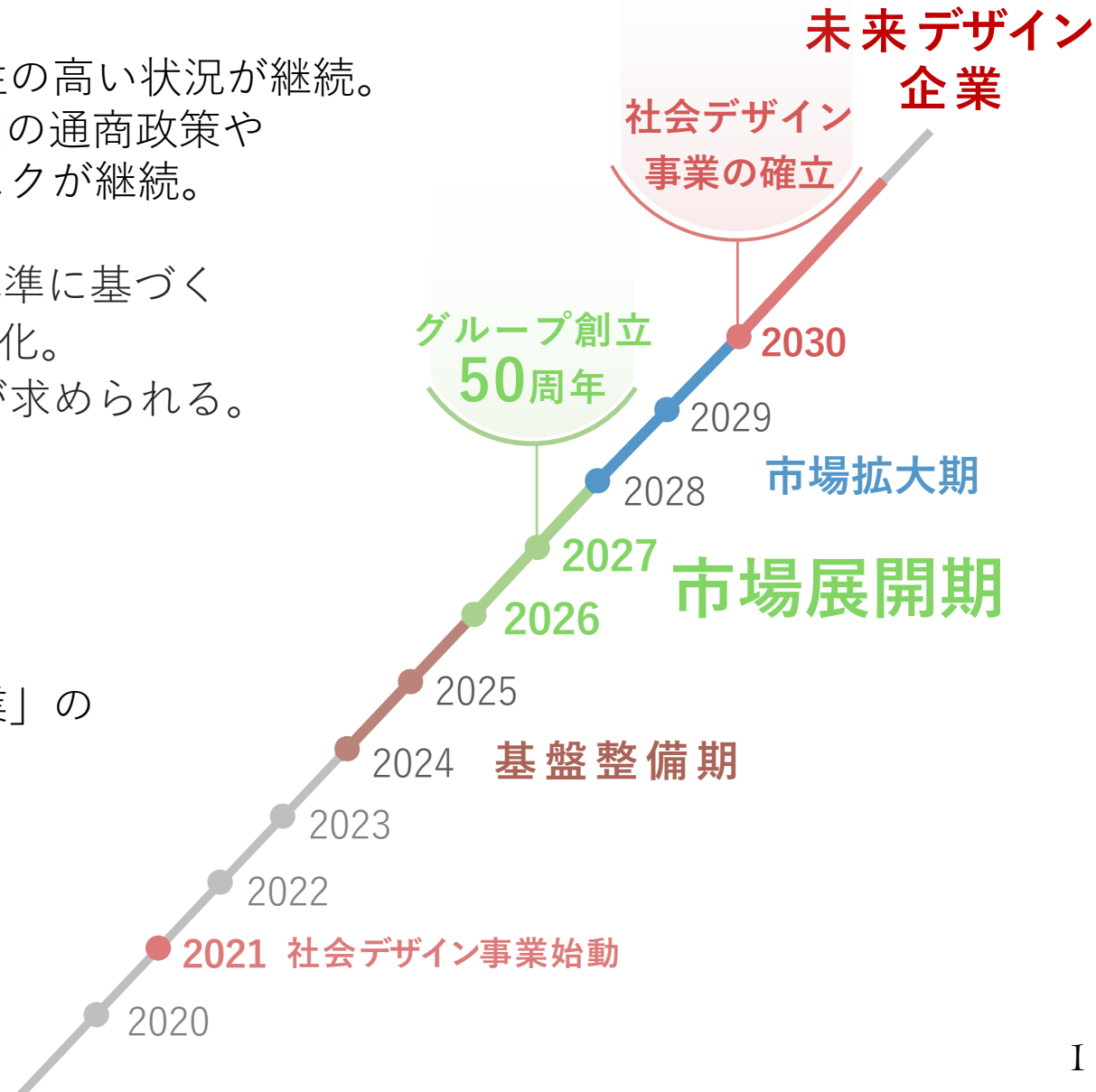
- 複数の社会構造の変化が同時に進み、複雑性・不確実性の高い状況が継続。
  マルチエージェントAIが急速に進化するとともに、米国の通商政策や
  中東情勢を背景に、資源・原材料の価格変動や調達リスクが継続。

- プライム市場の時価総額3兆円以上の企業から、SSBJ基準に基づく
  サステナビリティ開示が2027年3月期より段階的に義務化。
  企業は本質的な経営課題への対応と、情報開示の充実が求められる。

➡ これらのニーズを受けて、当社の事業機会は拡大

- 「エコシステム社会構想2030」の実現に向け、
  2026～2027年を**「市場展開期」**と位置づけ。
  社会の持続性と関係性を向上させる「社会デザイン事業」の
  確立を目指し、商品開発・展開を国内外で推進。

  国内：サステナビリティ市場に対する統合支援の高度化
  　　マルチエージェントAI時代に求められる商品の再設計
  　　サーキュラーマテリアルサービスの高度化
  海外：ASEAN市場を中心にサーキュラー技術を展開



© AMITA HOLDINGS CO., LTD.

決算ハイライト

成長に向けた先行投資を継続する中、増収、営業利益・経常利益ともに増益

（単位：百万円、百万円未満切捨て）

	2025年 1-9月	2026年 1-9月	前年同期増減額（前年同期増減率）
売上高	3,522	**3,690**	＋168（＋4.8%）
営業利益	296	**306**	＋9（＋3.3%）
経常利益	314	**343**	＋28（＋9.1%）
親会社株主に帰属する四半期純利益	185	**178**	△6（△3.8%）

売上高
Cyano Projectにおけるコンサルティング案件の受注までのリードタイムが長期化しているものの、シリコン再資源化の取扱量増加や、内閣府「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第３期」の売上計上等により増収。

営業利益
DX・AX推進等への先行投資を継続したことにより、販売費及び一般管理費が増加したものの、売上高の増加により増益。

経常利益
営業利益の増加に加え、マレーシア事業に関わる持分法による投資利益の増加等により増益。

四半期純利益
経常利益は増加したものの、増資に伴う法人税の増加等により減益。

© AMITA HOLDINGS CO., LTD.

総括及び今後の見通し

受注拡大に向けた取り組みと成長投資を推進、通期業績予想は据え置き

	2026年12月期　第３四半期	今後の見通し
Cyano Project	● **コンサルティングサービス** 受注は前年同期比で減少。経営幹部向け未来戦略共創OS「SEA」の提供と、AIを活用した営業活動の高度化・グループ横断での統合的な営業戦略を推進。 ● **サステナブルBPOサービス** 持分法適用関連会社を中心に堅調に推移。 ● **サーキュラーマテリアル製造・提供サービス** ・セメント産業向け代替原料は、出荷調整に伴う期ずれ等により前年同期比で出荷量が減少。一方、シリコン再資源化の入荷量・出荷量は増加。 ・７月にスマートファクトリー「ZERO Ⅰ」が操業開始。 ・大平洋金属との協業により、鉄鋼副資材「カルシウムアルミネート」の販売を開始。	● **コンサルティングサービス** 受注拡大に向け、統合的な営業戦略のもと、商品の再設計、グループ横断の営業活動と、AIを活用したニーズ把握・商談の効率化を推進。 ● **サーキュラーマテリアル製造・提供サービス** 「ZERO Ⅰ」を中核に、事業モデルの変革を進め、資源生産性の向上を目指す。 「ZERO Ⅰ」における入荷・製造・保管・出荷を担う自動制御システムを拡張するとともに、入出荷調整作業を最適化する予約システムや、資源循環のアイデア導出を支援する生成AI等を段階的に実装予定。
環境認証審査サービス	● FSC CoC認証の新規受注は鈍化する一方、MSC/ASC CoC認証を中心に新規受注を継続的に獲得。	● ASC養殖場認証の需要拡大に対応するため、組織体制の強化を推進。
海外事業	● マレーシア：セメント産業向け100％再資源化事業は堅実に推移。 ● インドネシア：現地循環資源製造所の建設業者の選定が完了。建設許可・廃棄物処理ライセンス取得手続き等を推進。 ● 環境省の都市間連携事業委託業務において、引き続きインドネシア及びインドでの事業可能性調査等を実施中。	● マレーシア：セメント産業向け100％再資源化事業は、中東情勢や競争環境への対応と収益基盤の強化に向け、廃棄物処理許可品目や製品出荷先の拡充及び新たな資源の製造・出荷に取り組む。未利用バイオマス資源を活用したサーキュラーバイオエネルギー事業の開発を推進。 ● インドネシア：2027年度内の循環資源製造所開所に向けた準備を推進。
MEGURU STYLE	● 京都府亀岡市：９月にMEGURU STATION®体験施設を併設したオフィスを開設。	● 京都府亀岡市：事業連携協定のもと、MEGURU STYLEのプロトタイプ開発と、全国展開を見据えた標準モデルの設計を推進。

© AMITA HOLDINGS CO., LTD.

アミタホールディングス株式会社
IR問い合わせフォーム
https://www.amita-hd.co.jp/contact/ir.html

本資料は、弊社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、
弊社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

また、本資料は2026年11月12日時点のデータに基づいて作成しています。

本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点の判断であり、その情報の正確性、
完全性を保証し、また約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。

© AMITA HOLDINGS CO., LTD.